

## 避難所運営どうする？ HUG を体験してハグレない防災力を！

### ～台風・地震等自然災害への備え～

講 師:看護学部 地域保健看護学 門間晶子・細川陸也・尾崎伊都子・山口知香枝

日 時:平成 29 年 10 月 14 日(土) 13:30～16:00

場 所:名古屋市立大学看護学部棟 308 講義室・301 教室

参加者:16 名

参加費:500 円

#### 【講座要旨】

私たちは、地震などの自然災害に見舞われやすい風土に暮らしています。もしもの時、自分そして周りの人が共に、被災から来るダメージを少しでも緩和できるよう過ごすためには、どんな備えが必要なのでしょうか。

また、災害発生時に地域に立ち上がる「避難所」は、地域の方々の力で運営されますが、そこはどのような場所で、どのような人たちがどのように過ごすことになるのでしょうか。

静岡県で開発され、子どもから大人まで、様々な場面での研修会に取り入れられている「避難所運営ゲーム(HUG)」を体験し、避難所の中で次々と起こる出来事に取り組みながら、上記のことを考える機会にします。

#### 【講義内容】

- 1 身近に起こる災害
- 2 どんな備えをしていますか？
- 3 避難所とはどんなところか？
- 4 備えのための啓発・訓練 ～防災・減災を目指して～
- 5 避難所運営ゲーム(HUG)をやってみましょう



#### 【全体講義】

##### 1. 身近に起こる災害

###### 1) 災害とは

異常な自然現象や人為的原因によって人間の社会生活や人命に受ける被害(広辞苑)

人と環境との生態学的な関係における広範な破壊の結果、被災社会がそれと対応するのに非常な努力を要し、被災地域以外からの援助を必要とするほどの規模で生じた深刻かつ急激な出来事

(日本集団災害医学会採用の定義;Gunn, W.)

\* 特定された個人に及んだ災難や事故(incident)とは区別

###### 2) 災害が起こりやすい風土<sup>1)</sup>

日本列島は、以下のような風土を有している。

- ・環太平洋地震帯の上に位置する
- ・太平洋プレートの境界にある⇒プレート境界型地震
- ・大陸プレートの上⇒プレート内部発生地震
- ・ユーラシア大陸の東端に位置 ⇒7～10 月南方洋上発生の上陸
- ・6～7 月には前線停滞しやすく多量の雨
- ・狭い国土を縦断する山から海へ注ぐ川

### 3)東日本大震災を受けて被害想定の見直し

- ・国の有識者会議が示した南海トラフ巨大地震の新想定
- ・H25.5 中央防災会議：南海トラフ地震は予測は困難、被害の絶対量を減らす「事前防災」が重要
- ・各自治体が被害想定、ハザードマップ見直しへ
- ・助ける仕組みづくり、要援護者対策、福祉避難所の整備など

## 2. どんないえをされていますか？

### 1)災害看護とは<sup>2)</sup>

- ・災害が人々の健康と生活に及ぼす被害を可能な限り少なくするための看護活動。
- ・平常時の備えから、災害発生時の援助、そして被災者がコミュニティでの新たな生活を再開できるまで継続的に展開される包括的な支援活動
- ・災害時には医療従事者のみならず、様々な人、組織との協力体制が不可欠、広域的な連携と協働が求められる。

### 2)何を備えるのか？ ～平常時の大切さ～ 何も起こっていない時(平常時・静穏期)にできること 自助として／互助・共助として

#### ◆災害時要配慮者の支援体制の整備(右図)

#### ◆被害を最小限に抑える「自助」「共助」「公助」<sup>3)</sup>

##### 【自助】

個人や家族を単位として「自分で守る」

##### 【共助(互助・相互扶助)】

一職場や地域において、生産活動や生活上の利害を共通にする者同士が「仲間同士で互いに助け合う」 例)商店街や互助組合など。

##### 【公助】

社会の通念からみて救済しなければならないと考えられる階層ないしは事態に対して、公権力によって認知された形で援助が行われること。

\* 今後、自助・共助の範囲が拡大し、役割が求められる。

#### ◆災害時要配慮者の支援体制の整備

以前は「災害弱者」

↓

その後「災害時要援護者」

必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに支援を必要とする人々

= 避難行動要支援者

そしてH25年の

- ・災害対策基本法改正、
- ・災害時要援護者の避難支援に関する検討会報告書によって

「避難行動要支援者」と「災害時要配慮者」に

(第49条の10)

(第8条第2項15号)

## 3. 避難所とはどんなところか？(下図)

### 3. 避難所とはどんなところか？

「避難場所」の改訂(名古屋市;平成29年3月)

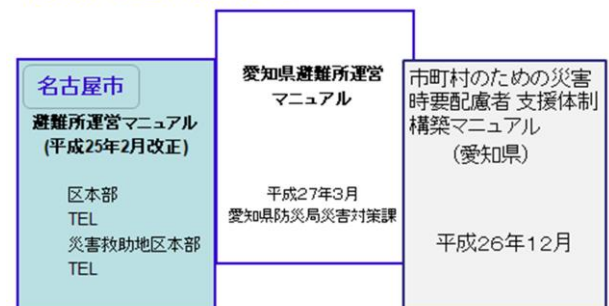
- ・指定緊急避難場所:命を守るため、災害の危険からまですは逃げるための場所
- ・指定避難所:自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送るためのところ
- ・具体的には、小中・高等学校、コミュニティセンターなど

名古屋市ホームページ  
「暮らしの情報」より



### ◆模索される避難所運営

運営の仕方、様々な人への配慮、少しでも快適にするためのマニュアルが次々と



- ◆福祉避難所とは・・・内閣府; 災害時要援護者の避難支援に関する検討会報告書, 平成 25 年
  - ・要援護者のために特別の配慮がなされた避難所
  - ・災害救助法が適用された災害で都道府県や委託された市町村が福祉避難所を設置した場合には、10 人の要援護者に 1 人の生活相談職員(要援護者に対して生活支援・心のケア・相談等を行う上で専門的な知識を有する者)等の配置、要援護者に配慮したポータブルトイレ、手すり、仮設スロープ、情報伝達機器等の器物、おむつ、ストーマ用装具等の消費機材の費用について国庫負担を受けることができる。
  
- ◆福祉避難所について、名古屋市の取り組み・・・名古屋市健康福祉局「福祉避難所について」より
  - ・平成 20 年 各小学校区(当時 263 学区)に 1 か所を目標に取り組み開始
  - ・平成 21 年 9 月 29 か所
  - ・平成 23 年 6 月 31 か所 計 1,083 人分
  - ・H28.4.1 16 区計 103 か所、収容人員 4,215 人

#### 4. 備えのための啓発・訓練 ～防災、減災を目指して～

##### 1) 平常時に行う訓練の目的

災害に備えて、平常時から予防対策に取り組み、訓練の結果などを踏まえて対策の見直しを続けることで、災害時における被害の発生や拡大を抑えることができる。

##### 2) 訓練の種類

(1)実技・実動訓練: 防災資機材の取り扱いや避難などの対応を手順に沿って行う

・・・これまでの市町村の防災訓練はこれが中心

(2)図上型訓練: 状況の予測や判断、活動方針の決定などの意思決定能力の向上をはかる

・・・近年重要性が認識される

市町村の実施しやすい 3 つの手法

- ①状況予測型図上訓練: 地震の発生時間や震度などのごく簡単な災害の想定を基に、訓練参加者自身が災害状況をイメージし、それをシナリオ代わりにして進めていく訓練
- ②災害図上訓練 DIG; 災害想像力ゲーム: 地域の地図さえあれば始められる簡単な図上型訓練。目的に応じて地図に書き込みをし、地域の防災力などを把握
- ③図上シミュレーション訓練: 進行係の用意したシナリオを基に、訓練参加者に役割を設定し、それぞれの役の立場でやりとりをしながら進めていく訓練



##### 3) 最近注目される HUG(ハグ)

- ・避難所(Hinanzyo)運営(Unei)ゲーム(Game)の略
- ・H19 年に静岡県が開発
- ・避難所で避難者を優しく受け入れる(ハグ)というイメージで名づけられた。
- ・テーマは、「短時間に殺到する避難者をいかに誘導・配置するか」
- ・ある町の避難所(小学校)が舞台であり、プレイヤーは避難所運営担当者。
- ・避難所に指定されている体育館のほか、校舎や校庭など、学校の敷地を有効活用しながら、数多くの避難者を適切に配置できるか模擬体験する。



＜グループワーク用の教室で HUG の説明＞

## 【演習】

### 5. 避難所運営ゲーム(HUG)をやってみましょう

#### 1) ゲームの体験

- ・進行役 1 名、プレーヤー 5～6 名を 1 グループとする。
- ・進行役は、避難者の情報が記載されたカードを順番に読み上げながら、プレーヤーに渡す。
- ・プレーヤーは、体育館や教室など避難者が生活するスペースに見立てた用紙に、避難者カードを並べる。

- ◇ 様々な人が避難所にやってくる。  
…体調の悪い人、集団生活になじみにくい人、家族を失った人、外国籍の人、ペットを連れた人……
- ◇ そして、取材、問い合わせ、支援物品などの様々な連絡・情報が届く。
- ◇ それらに、何を優先して取り組むとよいのか、みんなで考えながら、一つ一つ対応していく。
- ◇ 正解がないことも多い、ジレンマに満ちた課題に対応していく力をつける。



＜進行役が読み上げたカードへの対応を考える＞



＜次々と押し寄せる避難者の配置を考える＞

#### 2) 意見交換

- ・HUG を体験したのち、以下についてグループ同士で意見交換する。  
「自分のグループで迷ったこと、他のグループはどうだったのだろうか……」  
「他のグループとも共有しておきたい、気づきとは……」

#### まとめ・振り返り

短い時間での講義および体験でしたが、みなさんにとって、いざというときの備え、身近に開設される避難所の存在、その中で起こりうるジレンマに満ちたできごとなどを、少しでも体験・実感いただける機会になったのであれば幸いです。

#### 引用文献

- 1) 南裕子・山本あい子: 災害看護学習テキスト 概論編, 日本看護協会出版会, pp.6-7, 2011
- 2) 津村智恵子・上野昌江: 公衆衛生看護学, 中央法規, pp.435-436, 2012
- 3) 江見康一他編集: 保健福祉行政論(保健学講座⑨), メヂカルフレンド社, p.6, 2000